



かおり通信

学校教育目標……『自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

学校経営目標……『“共にくらす、共に学ぶ、共に育つ” 喜びのあふれる学校をみんなでつくりましょう』

～6年間で育てる 学校全体で育てる～

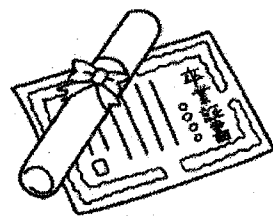
めざす学校像……『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が
専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 2022年度 3月号

2023年2月28日発行

巣立ちと次の学年への準備

3月17日（金）の卒業式で、6年生208名が香川小学校を巣立っていきます。小学校生活後半のこの3年、子どもたちにとっても保護者の皆様にとっても予想できない、先の見えない時が続きました。それまでの学校生活とは異なり、給食の黙食やマスク生活、授業の制限等、子どもたちは本当によく守り新たな学校生活を送ってきました。



そのような中で、今できることは何かを考え、精一杯取り組んだ6年生は、とても立派でした。卒業式を入れて残り13回の登校を有意義なものとしてほしいと思います。

卒業生は、4月から中学校という新しい場に進学することになります。残された日々を、香川小の6年生として、友だちと一緒に楽しく過ごしてほしいと思います。そして、中学生になってもそれぞれの場所で精いっぱい頑張してほしいものです。私たち教職員は、いつまでも卒業生の活躍を応援しています。

6年生のみなさんは、この一ヶ月で小学校の最高学年から中学1年生になります。中学生になると、生活環境が大きく変化します。教科ごとに先生が変わります。先生と同じ位に先輩の存在が大きくなります。電車・バスの料金が大人と同じになります。社会的に大人とみられる場面が増えていきます。新しい環境に心と体がついていかれるように準備していきましょう。その第一歩が、立派に香川小学校を巣立っていくことです。

1年生から5年生までのみなさんにとっては、この3月は、学習のまとめの時期です。今の学年の勉強をしっかり身につけてください。学習したことが次の学年への準備になります。一人一人の頑張りを応援しています。

新年度の準備を進める上でみなさんにお願ひがあります。今まで使ってきた机、イス、教室、ロッカー、下駄箱、担当してきた掃除場所など、次の人たちが、気持ちよく使えるように、きれいに引き継ぎましょう。

2022年度学校アンケート概要

昨年12月にご協力いただいた学校アンケートの概要をご報告させていただきます。2020年度までは、アンケート用紙で回答をいただいていた、およそ9割の回答率でした。2021年度からwebでの様式に変更しました。その結果、回答率が2021年度7割2022年度6割と減少しています。回答数が増える工夫が必要と考えます。

こんにちは。理学療法士の崔 晃徳です。冬休みの間に学校ではできない体験や経験をしたためか、成長している姿やできる事が増えている子どもが多くみられております。学校以外でも様々な経験をしたり、家族とゆっくり過ごす事で感じる事や学ぶ事がたくさんあることを実感させていただいた冬休み明けでした。今回は、『体の柔らかさ』についてお話させていただきます。

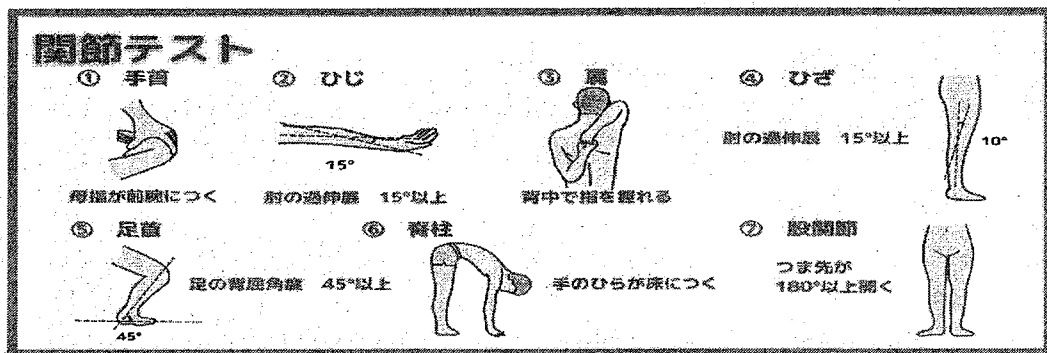
お子さんの体や関節が柔らかかったり、動きがぐにゃぐにゃして、バランスを崩す様子を見かけませんか？

『関節が柔らかく(ゆるく)、力のコントロールがしづらい体の特徴』が関係しています。

小学校3・4年生までは筋肉や骨の成長もあまり顕著にみられず、体の成長としても未成熟な状態です。そのため、平均的に関節は比較的柔らかい子どもが多いです。そのため偏平足や膝や肘が反りすぎてしまう反張膝・反張肘が見られやすくなります。しかし、偏平足や反張膝・反張肘は悪い事ではなく、体の個性です。

体や関節が柔らかい中でも肘や膝が反ったり、親指が手首についたりする事で、柔らかい関節の特徴があり、姿勢が崩れやすい、バランスが不安定になりやすいなどで、体の負担になりやすい場所があります。しかし、体がかたい場合も同様に、体がかたいと筋肉を傷めやすかったり、無理をすると怪我に繋がりがやすかったりします。そのため、体の硬さや柔らかさによっていい悪いではなく、それぞれの特徴が見られます。

関節の柔らかさを見るテスト(自分の弱い力で動かします。)



7項目のうち4つ以上当てはまる場合は関節が柔らかいタイプになります。

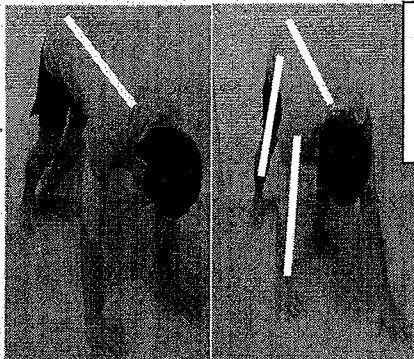
関節が柔らかいが、筋肉がかたい場合は、筋肉を柔らかくするために柔軟体操やストレッチをする事が大切になります。

上記のテストのように関節と筋肉が柔らかく、止まっていると姿勢が崩れやすくバランスが不安定な場合体の動き方を修正したり、バランスを整える事も大切になります。

(動き方の修正は肘や膝は反らないようにしたり、体幹は曲げないように、股関節や膝・肘を動かす必要があります。)

動きの例

体と肘の動きの修正



四つばい歩き
肘や体を真直ぐに保ちながら動くことが大切です。

膝を曲げる運動
体は真直ぐにして、股関節や膝を曲げます。

体・足の動き方の修正



今回載せた事は体の特徴のお話になります。個性であり、良し悪しはありません。体が硬くても、関節が柔らかくても痛みがなかったり、バランスが安定し、日常に不都合がなければ大きな問題はありません。痛みや不都合が出た際には、近くの整形外科を受診していただくと良いかと思います。本年もよろしくお祈りします。

理学療法士 崔 晃徳

<3月行事予定> 詳しくは各学年便りをご覧ください。

日	曜	学 校 行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水		5	5	6	6	6	6
2	木	6年生を送る会	5	5	6	6	6	6
3	金		5	5	5	6	6	6
4	土							
5	日							
6	月	開校記念日	4	5	5	5	5	5
7	火		5	5	5	5	5	5
8	水		5	5	6	6	6	6
9	木		5	5	6	6	6	6
10	金		5	5	5	6	6	6
11	土							
12	日							
13	月	スクールカウンセラー来校日	4	5	5	5	5	5
14	火		5	5	5	5	5	5
15	水	給食終了	5	5	6	6	6	6
16	木	お別れ式	3	3	3	3	3	3
17	金	卒業式(1~5年 臨時休業)						3
18	土							
19	日							
20	月		3	3	3	3	3	
21	火	春分の日						
22	水	大掃除(2校時)	3	3	3	3	3	
23	木		2	2	2	2	3	
24	金	修了式 離退任式	3	3	3	3	3	
25	土							
26	日							
27	月	学年末休業						
28	火							
29	水							
30	木							
31	金							

令和4年度 茅ヶ崎市教育講演会

子どもに寄り添うということ
～自尊感情の大切さ～

講師 こんどう たく 近藤 卓 先生
(日本ウェルネススポーツ大学教授)

動画配信日 令和5年2月24日(金)
～令和5年4月21日(金)

1/21(土)に行われました講演会の様子を
動画配信いたします。どうぞご覧ください！
教育センターHPから、YouTube
「ちがさき動画ライブラリー」で視聴ください。
<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/1005049/index.html>



【卒業式について】 3/17(金)

先日、6年生保護者と地域の皆様には、おたよりでお知らせしましたが、今年度の卒業式も、卒業生・保護者・教職員のみの参加で実施いたします。1年生～5年生の児童は、卒業式前日の「お別れ式」で、6年生の卒業をお祝います。そのため、卒業式当日3月17日(金)は、1年生～5年生は臨時休業となります。

【離退任式について】 3/24(金)

今年度末で香川小学校を去る教職員の離退任式を、3月24日(金)に行います。新型コロナウイルス感染症対策により、児童のみの参加とします。保護者、地域の皆様には、大変申し訳ございませんが、式への参加はお控えくださいますようお願いいたします。離退任者等につきましては、3月22日(水)にプリントを配布しお知らせします。なお、卒業生・地域の皆様には、同日にメールでお知らせする予定です。

【来年度の家庭訪問について】

4月21日(金)・24日(月)・26日(水)・27日(木)・28日(金)・5月1日(月)・5月2日(火)の日程で行う予定です。詳しくは別紙プリントにてお知らせいたします。

【朝の留守番電話解除時刻変更のお知らせについて】

令和5年4月より、朝の留守番電話の解除時刻を8:15といたします。教職員の勤務時間(8:30～17:00)にも関係しておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

保護者アンケートから

身につけてほしい力【2択】	今年	昨年
1. 知識・技能	15%	15%
2. 思考力・判断力・表現力	②66%	①70%
3. 主体的に学習に取り組む態度	26%	26%
4. 相手を思いやる力	①73%	②63%
5. 自分で自分の身を守る力	③29%	③30%

○全体的な傾向に変化はありません。学校の教育目標と保護者との間に大きなずれはありません。香川小の教育目標「自分を大切にし、互いに認め合える子どもの育成」を具現化するために今後も取り組んでいきます。

自分の気持ちを伝えたり、相手の身になって考えたりする力をつけるために重要なこと	今年	昨年
1. 授業中の友だちとの関わり	③47%	②49%
2. 休み時間や放課後の友達との関わり	①78%	①75%
3. 異学年の子どもとの関わり	42%	40%
4. 自然な異学年交流ができる教室配置	20%	23%
5. 道徳教育	②48%	46%
6. 教師との関わり	46%	②49%

○昨年から大きな変化はありません。休み時間や放課後など大人の目がないところでの友達との関わり、経験が重要であると第一に捉えられています。学校や保護者は、子どもたちに関わり方や自分の気持ちの伝え方をしっかりと伝授することが大切だと考えます。

子どもの様子を知るために参考にしている	今年	昨年
1. 学級通信	29%	22%
2. テスト	17%	32%
3. ノートや作品など	15%	③36%
4. 子どもとの会話	①82%	①76%
5. 運動会等の行事	17%	22%
6. 共育参観や土曜参観	③56%	29%
7. 個人面談	②66%	②63%
8. 日々の宿題	13%	18%
9. Google classroom	15%	

○コロナの影響もあるのかもしれませんが、実際の子どもの姿・授業を見ることができると共育参観・土曜参観が倍増しています。Google classroomも今後、子どもの様子を伝えるツールとなっていくと考えます。また、個人面談ではノートや作品などを示しながら充実したものにしていかなくてはならないと考えています。

子どもを褒めるのはどんなとき	今年	昨年
1. 子どもと会話をしているとき	③73%	65%
2. 他の人に優しくできたとき	②82%	②82%
3. 努力をしているとき	①91%	①91%
4. 参観・行事・面談の後	56%	57%
5. 「先生から〇〇と言われた」とき	47%	48%
6. 宿題やテストがよくできたとき	60%	③67%
7. その他	12%	10%

○できる・できないという結果ではなく、努力していることを褒める・認めるという姿勢は、昨年と変わりません。学校も子どもを認め・褒めることを続けていくことが大事であると考えます。

児童アンケートから

○次も頑張ってみようと思う褒められ方の上位は、①得意なことを褒められる 27% ②苦手なことをがんばったことを褒められる 19%となっています。得意なことをしっかりと褒めることが、子どもたちの次へのがんばりに繋がるのがわかります。特徴的なのは、「何気ない行動を褒められること」は学年が上がるにつれ

何気ない行動を褒められる	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	2%	3%	5%	9%	9%	15%

へのがんばりに繋がっています。「褒められることで感じていること」では、①得意なことを頑張れる 35% ②安心して授業を受けることができる 13% ③自分なりに目標を立てて頑張ることができる 12% ④自分には良いところがあると思える 10% となっています。大人が子どもを認め褒めることが、子どもの意欲・自己肯定感を高めるためにも重要だと考えられます。

お忙しい中、学校アンケートにご協力ありがとうございました。